



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月7日

上場会社名 名古屋鉄道株式会社

上場取引所 東名

コード番号 9048 URL <http://www.meitetsu.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山本 亜土

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役財務部長

(氏名) 内田 亙

TEL (052)588-0846

四半期報告書提出予定日 平成26年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	437,833	△1.9	27,599	3.5	26,230	8.5	13,047	26.7
25年3月期第3四半期	446,424	4.2	26,678	30.8	24,181	41.6	10,297	122.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 20,835百万円 (113.2%) 25年3月期第3四半期 9,773百万円 (△17.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	14.84	13.89
25年3月期第3四半期	11.71	11.23

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	1,122,996	253,468	20.9
25年3月期	1,102,975	235,589	19.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 235,021百万円 25年3月期 217,736百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	3.00	3.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	618,000	1.3	30,400	△6.0	28,400	△1.4	14,500	13.9	16.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年3月期3Q	881,584,825 株	25年3月期	881,584,825 株
26年3月期3Q	2,536,282 株	25年3月期	2,450,583 株
26年3月期3Q	879,105,111 株	25年3月期3Q	879,165,783 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・四半期決算補足説明資料の入手方法について

四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

○同日開示資料

平成26年3月期第3四半期 決算説明資料

(注) 上記の資料は、本日（平成26年2月7日）、T D n e t で開示するとともに、当社ホームページに掲載しております。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)におけるわが国経済は、円安による輸入品・材料費等の高騰や、消費税増税による影響が懸念されるものの、輸出関連企業を中心とした企業業績の好転や、それに伴う個人消費の一部に持ち直しの動きが見られるなど、景気回復の兆しが見え始めました。こうした状況下、当社及び当社グループの各事業部門は、積極的な営業活動と経営の合理化に努めました結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益は4,378億33百万円(前年同期比1.9%減)、営業利益は275億99百万円(前年同期比3.5%増)、経常利益は262億30百万円(前年同期比8.5%増)、四半期純利益は130億47百万円(前年同期比26.7%増)となりました。

セグメント別の業績概況は、次のとおりであります。

① (交通事業)

鉄軌道事業については、当社では、通勤型車両4000系を順次導入し車両の更新を行ったほか、高架橋柱などの耐震補強、都市計画事業の一環として高架化工事を進めるなど、安全面の強化に努めました。営業施策面では、名鉄名古屋駅構内において、東海圏では最大規模となる大型モニターによる複数面のデジタルサイネージ(電子看板)を活用した広告展開を開始したほか、常滑線全線開通100周年などの記念イベント開催や、沿線地域と連携した各種企画乗車券を販売するなど、誘客促進に努めました。

バス事業については、名鉄バス(株)では、路線バスの愛知淑徳大学線、高速バスの名古屋一宇都宮・郡山線の運行を開始し、新規顧客の獲得に努めたほか、全車両のドライブレコーダーとデジタルタコグラフを、一体型の次世代型安全対策機器に順次更新するなど、安全管理の強化に努めました。

タクシー事業については、スマートフォン用タクシー配車サービス「全国タクシー配車」の導入拡大を進めるなど、サービス向上に努めました。

この結果、交通事業の営業収益は1,199億78百万円(前年同期比0.7%増)、営業利益は140億65百万円(前年同期比8.2%増)となりました。

② (運送事業)

トラック事業については、輸送契約更改における運賃の見直しや業務・輸送システムの再構築に向けた諸施策を推進し、収益性の向上を図りました。

海運事業については、太平洋フェリー(株)では、昨年4月に開設40周年を迎えた北海道航路(名古屋-仙台-苫小牧間)にて、「就航40周年キャンペーン」を展開し、旅客の利用促進を図りました。

この結果、運送事業の営業収益は、企業の生産活動改善により貨物輸送量が堅調に推移したことから1,024億27百万円(前年同期比0.2%増)となったものの、営業利益は燃料費などの増加もあり36億79百万円(前年同期比4.8%減)となりました。

③ (不動産事業)

不動産賃貸業については、当社では、「名古屋クロスコートタワー」やリニューアル工事を進めテナントを誘致した「名鉄バスターミナルビル」が通期で寄与したほか、「名古屋ルーセントタワー」などの賃貸収入も好調に推移しました。

不動産分譲業については、分譲団地「名鉄陽なたの丘 蒼空の街」の販売を引き続き進めました。

しかしながら、分譲マンションの引渡戸数減少や、前年同期に分譲土地の一括販売があったことから、不動産事業の営業収益は446億22百万円(前年同期比26.1%減)、営業利益は42億16百万円(前年同期比26.5%減)となりました。

④ (レジャー・サービス事業)

ホテル業については、(株)名鉄トヨタホテルでは、昨年9月に7階宴会場フロアをリニューアルオープンし、新規顧客の獲得に努めたほか、名鉄イン(株)では、インターネットを利用した拡販を強化するなど、客室稼働率の向上に努めました。

観光施設については、(株)名鉄インプレスでは、「野外民族博物館リトルワールド」にて「トルコ イスタンブールの街」を昨年3月に新規オープンし、施設の魅力向上を図ったほか、(株)夫婦岩パラダイスでは、「二見ブラザ」が伊勢神宮式年遷宮の効果による集客増もあり、好調に推移しました。

旅行業については、国内旅行において、首都圏への旅行や式年遷宮行事による伊勢神宮ツアーが好調に推移したものの、

海外旅行において、中国・韓国ツアーの冷え込みが依然として続くなど、厳しい状況で推移しました。

この結果、レジャー・サービス事業の営業収益は413億21百万円（前年同期比3.6%増）、営業利益は15億10百万円（前年同期比76.3%増）となりました。

⑤（流通事業）

百貨店業については、(株)名鉄百貨店では、化粧品売場のリニューアルや婦人衣料・婦人雑貨でブランド入替を行うなど、誘客促進に努めたほか、輸入車販売においては、積極的な営業活動により、販売台数が増加しました。

この結果、流通事業の営業収益は1,104億46百万円（前年同期比4.1%増）、営業利益は14億15百万円（前年同期比18.5%増）となりました。

⑥（その他の事業）

その他の事業では、調査測量事業で、前年同期に比べ受注が増加したほか、システム開発案件が好調に推移し、営業収益は509億77百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は23億37百万円（前年同期比54.6%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末においては、総資産が前連結会計年度末に比べ200億21百万円増加しております。これは主として、分譲土地建物が128億57百万円、投資有価証券が保有上場株式の時価上昇により88億8百万円増加したことなどによるものであります。

また、負債の部は前連結会計年度末に比べ21億42百万円増加しております。これは主として、有利子負債が全体で31億42百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は前連結会計年度末に比べ178億78百万円増加しております。これは主として、利益剰余金が105億13百万円、保有する株式の時価上昇などによりその他有価証券評価差額金が58億67百万円増加したことなどによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績を踏まえ検討した結果、前回公表時（平成25年11月7日）より変更はありません。なお、個別の業績につきましても、同日公表の業績予想から変更はありません。

業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,420	20,734
受取手形及び売掛金	59,922	54,892
短期貸付金	7,508	6,817
分譲土地建物	56,221	69,079
商品及び製品	7,319	8,077
仕掛品	391	1,119
原材料及び貯蔵品	3,956	4,457
繰延税金資産	5,805	4,036
その他	12,391	18,494
貸倒引当金	△262	△294
流動資産合計	163,674	187,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	322,812	313,941
機械装置及び運搬具(純額)	63,890	61,561
土地	367,197	366,482
リース資産(純額)	8,961	8,303
建設仮勘定	50,326	55,078
その他(純額)	7,805	7,153
有形固定資産合計	820,994	812,520
無形固定資産		
施設利用権	7,099	6,245
のれん	278	398
リース資産	1,247	909
その他	3,277	3,813
無形固定資産合計	11,902	11,366
投資その他の資産		
投資有価証券	78,783	87,592
長期貸付金	302	280
繰延税金資産	12,807	9,707
その他	16,358	15,946
貸倒引当金	△1,847	△1,831
投資その他の資産合計	106,404	111,695
固定資産合計	939,301	935,582
資産合計	1,102,975	1,122,996

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	67,390	57,900
短期借入金	135,133	149,676
1年内償還予定の社債	—	10,000
リース債務	3,829	3,492
未払法人税等	3,651	3,098
繰延税金負債	1	2
従業員預り金	18,537	18,884
賞与引当金	5,247	1,652
整理損失引当金	69	204
商品券等引換引当金	1,761	1,781
その他	88,065	96,958
流動負債合計	323,689	343,650
固定負債		
社債	119,995	134,989
長期借入金	294,140	258,573
リース債務	6,919	6,083
繰延税金負債	3,696	5,708
再評価に係る繰延税金負債	63,971	62,830
退職給付引当金	28,904	28,442
役員退職慰労引当金	1,726	1,557
整理損失引当金	3,828	7,105
商品券等引換引当金	108	88
その他	20,403	20,496
固定負債合計	543,695	525,877
負債合計	867,385	869,528
純資産の部		
株主資本		
資本金	84,185	84,185
資本剰余金	18,428	18,428
利益剰余金	43,394	53,907
自己株式	△756	△780
株主資本合計	145,251	155,741
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,387	15,255
繰延ヘッジ損益	10	11
土地再評価差額金	63,139	64,051
為替換算調整勘定	△52	△38
その他の包括利益累計額合計	72,485	79,280
少数株主持分	17,852	18,446
純資産合計	235,589	253,468
負債純資産合計	1,102,975	1,122,996

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業収益	446,424	437,833
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	383,042	373,840
販売費及び一般管理費	36,703	36,393
営業費合計	419,746	410,233
営業利益	26,678	27,599
営業外収益		
受取利息	73	47
受取配当金	1,027	1,186
持分法による投資利益	818	1,711
雑収入	1,714	1,262
営業外収益合計	3,633	4,207
営業外費用		
支払利息	5,898	5,212
雑支出	232	363
営業外費用合計	6,130	5,576
経常利益	24,181	26,230
特別利益		
固定資産売却益	1,041	1,095
工事負担金等受入額	481	343
投資有価証券売却益	186	233
その他	321	416
特別利益合計	2,030	2,089
特別損失		
固定資産売却損	1,291	226
減損損失	4,350	1,258
固定資産除却損	446	123
工事負担金等圧縮額	425	311
投資有価証券評価損	502	236
整理損失引当金繰入額	957	3,546
その他	675	298
特別損失合計	8,650	6,000
税金等調整前四半期純利益	17,562	22,319
法人税、住民税及び事業税	4,197	5,080
法人税等調整額	2,030	3,493
法人税等合計	6,228	8,573
少数株主損益調整前四半期純利益	11,334	13,746
少数株主利益	1,036	698
四半期純利益	10,297	13,047

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	11,334	13,746
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,495	5,621
土地再評価差額金	989	1,017
為替換算調整勘定	△0	15
持分法適用会社に対する持分相当額	△54	435
その他の包括利益合計	△1,560	7,089
四半期包括利益	9,773	20,835
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,712	19,948
少数株主に係る四半期包括利益	1,061	886

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	運送事業	不動産事業	レジャー・サービス事業	流通事業	その他の事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
営業収益									
外部顧客に対する営業収益	117,412	101,864	55,335	39,228	96,127	36,455	446,424	—	446,424
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	1,751	339	5,026	659	9,938	13,114	30,830	△ 30,830	—
計	119,164	102,203	60,361	39,888	106,066	49,569	477,254	△ 30,830	446,424
セグメント利益	13,003	3,865	5,738	856	1,194	1,512	26,170	507	26,678

(注)1. 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、以下の事業セグメントを含んでおります。

設備の保守・整備、航空事業、ビル管理メンテナンス業、保険代理店業等

2. セグメント利益の調整額507百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	交通事業	運送事業	不動産事業	レジャー・サービス事業	流通事業	その他の事業 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
営業収益									
外部顧客に対する営業収益	118,193	102,086	39,677	40,225	99,705	37,945	437,833	—	437,833
セグメント間の内部営業収益 又は振替高	1,785	341	4,944	1,096	10,740	13,031	31,939	△ 31,939	—
計	119,978	102,427	44,622	41,321	110,446	50,977	469,772	△ 31,939	437,833
セグメント利益	14,065	3,679	4,216	1,510	1,415	2,337	27,225	374	27,599

(注)1. 「その他の事業」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、以下の事業セグメントを含んでおります。

設備の保守・整備、航空事業、ビル管理メンテナンス業、保険代理店業等

2. セグメント利益の調整額374百万円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。